学校番号	３１０

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	改訂版　最新「数学Ⅰ」　（数研出版）						
副教材等	改訂版　パラレルノート 数学Ⅰ　（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 板書用ノートと問題集用ノートを用意しましょう。
②授業は「基礎項目確認→例題確認→練習問題演習→練習問題振り返り→類題演習(問題集)」の流れで行います。
③知識定着への近道は、「アウトプットの繰り返し」と考えます。例題確認から類題演習までの流れの中で、自ら考え、周りと協働できる機会を設けますので、積極的に活動しましょう。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり 育成することをめざす。
(1) 数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系 的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理した りする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力， 図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関 数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察す る力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着 目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考 察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断 しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようと する態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式，図形と計量，2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりできる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　数と式	第1節　数と式 1　多項式 2　多項式の加法･減法･乗法 3　展開の公式 4　式の展開の工夫 5　因数分解 6　いろいろな因数分解	a: 展開の公式を用いて，式を展開することができたり，おきかえを利用し，多項式の展開の公式に帰着させることができる。多項式を適切な形に整理したり，おきかえなどを利用したりして，因数分解の公式に帰着させることができる。 b: 式を１つの文字におき換えることによって，式の計算を簡略化したり，項を組み合わせる，降べきの順に整理するなどして見通しをもって計算することができる。 c: 展開と因数分解の関係に着目し，因数分解の検算に展開を利用しようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート

		第2節　実数 7　実数 8　根号を含む式の計算	a: 有理数と無理数の違い，および実数について理解している。絶対値の意味と記号を理解している。平方根を含む式の計算ができる b: 自然数，整数，有理数，実数の各範囲で，四則計算について閉じているかどうかが考察できる。平方根の性質，平方根の積と商などについて，一般化して考察できる。 c: 今まで学習してきた数の体系について整理し，考察しようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
		第3節　1次不等式 9　不等式 10　不等式の性質 11　1次不等式の解き方 12　連立不等式 13　不等式の利用	a:不等式の性質，1次不等式の解法を理解し，1次不等式を解くことができる。 b: 不等式の性質を，数直線と対応させて考察できる。身近な問題に対し，適切に変数を定め，1次不等式で表現できる。 c: 身近な問題を，1 次不等式を用いて解決しようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
	第2章　集合と命題	1　集合と部分集合 2　共通部分,和集合,補集合 3　命題と集合 4　命題と証明	a: 部分集合，空集合，2 つの集合の包含関係を理解している。共通部分，和集合，補集合を求めることができる。命題の真偽を，集合や反例などを用いて判定することができる。必要条件，十分条件の意味を理解している。 b: 数直線・ベン図や列挙など，集合をそれぞれの場合に適した形で表すことができる。命題の真偽を，集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 c: 集合について，それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。条件を満たすものの集合の包含関係が，命題の真偽に関連していることに着目し，命題について調べようとする態度がある。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート

2学期	第3章 2次関数	第1節 2次関数とグラフ 1 関数 2 関数とグラフ 3 $y=ax^2$ のグラフ 4 $y=ax^2+q$ のグラフ 5 $y=a(x-p)^2$ のグラフ 6 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフ 7 $y=ax^2+bx+c$ のグラフ 8 2次関数の最大･最小 9 2次関数の決定	a: $y=ax^2+bx+c$ を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形し，そのグラフをかくことができる。定義域が限られた場合において，2 次関数の最大値，最小値を求めることができる。与えられた条件を関数の式に表現し，2 次関数を決定することができる。 b: 2 次関数のグラフの平行移動は，頂点の移動を考察すればよいことを理解している。2 次関数の決定において，適した 2 次関数の式の形を使うことができる。 c: 放物線のもつ性質に興味・関心を示し，自ら調べようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
		第2節 2次方程式と2次不等式 10 2次方程式 11 2次関数のグラフとx軸の共有点 12 2次不等式 13 2次不等式の利用	a: 2 次方程式は，因数分解による解法が難しい場合に，解の公式を利用すれば，必ず解を求められることを理解している。2 次関数のグラフを利用して，2 次不等式を解く方法を理解し，2 次不等式を解くことができる。 b: 2 次関数のグラフ，2 次方程式，2 次不等式を関連づけて考えることができる。 c: 2 次方程式がどんな場合でも解けるように，解の公式を得て，それを積極的に利用しようとする。2 次関数のグラフと x 軸の位置関係を調べ，その意味を探ろうとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート

	第4章	第1節　三角比 1　鋭角の三角比 2　三角比の利用 3　三角比の相互関係 4　三角比の拡張 5　三角比が与えられたときの角	a: 三角比を使って，距離や高さを求めることができる。鈍角も含めて三角比の相互関係を用いて，三角比の 1 つの値から残り 2 つの三角比の値を求めることができる。座標を用いて，θの三角比の値からθを求めることができる。 b: 直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし，具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。 c: 日常生活に見られる具体例から関数を見つけようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
3学期		第2節　正弦定理･余弦定理 6　正弦定理 7　余弦定理 8　三角形の面積 9　図形の計量	a: 正弦定理を用いて三角形の外接円の半径や辺の長さを求めることができる。余弦定理を用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 b: 正弦定理や余弦定理を用いて，測量問題が解決できる。 c: 日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート
	第5章	1　データの整理 2　データの代表値 3　データの散らばり 4　データの相関 5　相関係数 6　分割表 7　仮説検定の考え方	a:代表値の意味を理解し，それらを求めることが出来る。また，箱ひげ図の図示や分散を求めることができる。 b:データに応じた方法で分布を比較できる。相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること，数値化して扱うことのよさを理解している。 c: 問題の解決や改善を図るために，現状のデータの分布を望ましいと考える方向に変えるための条件や改善策を，コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして探ろうとする。	小テスト 考査	ワークシート 考査	ノート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度